

RSウイルス感染症に注意しましょう！

県南地域でRSウイルス感染症が流行しています

RSウイルス感染症は、RSウイルスによる呼吸器の感染症です。症状は、発熱、鼻汁等の軽い風邪様の症状から重い肺炎までさまざまです。特に、生後6か月以内にRSウイルスに感染した場合には、細気管支炎や肺炎等、重症化する場合があります。

県南では、小児科定点医療機関からの報告が、17週（4/22～4/28）以降、流行レベル1～4で推移しており、警報レベルの流行が続いています。基本的な感染対策を徹底しましょう。

<特に注意が必要な人>

- ・生後6か月未満の乳児
- ・免疫不全の基礎疾患を有する方
- ・慢性呼吸器疾患や基礎疾患を有する高齢者



<RSウイルス感染症の流行レベル>

- 0.4以上 : 流行開始
- 0.8以上 : 注意報レベル
- 1.1以上 : 警報レベル



▲福島県感染症発生動向調査報告

全国・県内で劇症型レンサ球菌感染症が流行しています

劇症型レンサ球菌感染症は、レンサ球菌による感染症です。突発的に発症し、敗血症などの重篤な症状を引き起こし急速に多臓器不全が進行することがある重症感染症であり、死亡率は約30%とされています。

実際の感染経路は明らかになっていませんが、飛沫感染や接触感染の他、傷口や粘膜から筋肉や血液にレンサ球菌が侵入することによって病気を起こすと言われています。

<全国・県内の発生状況>

報告数/年	2019	2020	2021	2022	2023 (速報値)	2024 (~6/2暫定値)
全国	894	718	622	708	941	977
福島県	10	13	9	10	10	21



傷口の清潔な処置と基本的な感染対策が有効です！

基本的な感染対策

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

- マスクを着用する（口・鼻を覆う）
- ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- 袖で口・鼻を覆う



何もせずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う



咳やくしゃみを手でおさえる

FAX

MAIL

発行元：福島県県南保健所 生活衛生部 医療薬事課 0248-23-1252 kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAX及びメールでお願いします。